

.....

**館園名** : いわき市暮らしの伝承郷 (くらしのでんしょうごう)

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1999年07月18日

### 所在地

- ・ 〒970-8043 福島県いわき市鹿島町下矢田字散野 14-16

### 公式サイト

- ・ <http://www.denshogo.jp>

### 設立主体

- ・ いわき市

### 運営主体

- ・ 財団法人いわき市教育文化事業団

### 設立目的

- ・ 伝統的な民家や文化財などを保存するとともに、体験を通して学習する場を提供すること。

### 展示概要

- ・ 江戸時代後期から明治時代初期ごろまでに建てられた民家5棟を、市内各地から移築復元し、民具類を配置してある。
- ・ 学習管理棟には、常設展示室と企画展示室がある。
- ・ 常設展示 : ジオラマ、映像、からくり舞台などの展示手法を活用し、民家・年中行事・伝統芸能・子どもたちの暮らしの移り変わりなどを展示、紹介している。

### 活動概要

- ・ 年3回の企画展を開催している。

### 延床面積

- ・ 1,120.46 m<sup>2</sup>

### 全職員数

・

### 年間運営費

- ・ 45,758 千円

### 総資料点数

- ・ 2,328 点

### その他

- ・ 学習管理棟は、学習施設の機能も備えている。
- ・ ミュージアムショップでは、蓑・わらじ・ぞうり・絵葉書・民家復元報告書・ガイドブックを販売。

## 2. ボランティア活動 名称：

### 活動目的・経緯

- ・ 1999年7月、活動開始。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 135名
- ・ 男性65名、女性70名
- ・ 平均年齢52歳：男性52歳、女性52歳

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：企画管理係 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①展示・民家の解説、②民家園の清掃・火焚き、③花と野菜作りボランティア、④里山ボランティア。

### 活動その他

- ・ ボランティアの希望日に活動。
- ・ 博物館により運営。
- ・ 市内在住の健康な方を対象に、不定期に募集。
- ・ 定年制・任期制なし。
- ・ 年2回、行政のボランティア担当者、他施設のボランティア、学識経験者が講師となって、実施。
- ・ いわき市のボランティア保険に加入。
- ・ 応募者が少なく、実際に活動出来る会員が少ないことが問題点。
- ・ 情報交換を活発にすることが、課題。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

- ・ 開園初年度より、いわき市登録ボランティア団体中央台鹿島のぞみの会（近隣老人団体）と、体験学習事業等での協力を頂いている。
- ・ 2003年度からは、NPO法人いわきの森に親しむ会にも、体験学習、里山整備の協力を頂いている。

## 活動個別シート ①展示・民家の解説

### ◇活動開始年

- ・ 1999 年

### ◇活動人数

- ・ 9 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 常設展示室、民家園でのガイド。

### ◇活動日

- ・ ボランティアの都合の良い日。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

### ◇運営 (シフト 等)

- ・

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 随時。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年 2 回、行政のボランティア担当者、他施設のボランティア、学識経験者が講師となって、実施。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 市のボランティア保険に加入。

### ◇評価

- ・ 活動者が限定されている。

### ◇課題と展望

- ・ 活動人数を増加させることと、ボランティア各自の資質の向上が課題。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ②民家園の清掃・火焚き

### ◇活動開始年

- ・ 1999 年

### ◇活動人数

- ・ 32 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 民家園の維持、清掃、火焚き。

### ◇活動日

- ・ 水、土曜日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 清掃用具等、備品を支給。

### ◇運営（シフト 等）

- ・

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 2 回、行政のボランティア担当者、他施設のボランティア、学識経験者が講師となって、実施。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 近隣老人団体の中央台鹿島のぞみの会と委託契約を締結（有償ボランティア）。
- ・ 体験学習事業の協力については無償。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

### 活動個別シート ③花と野菜作りボランティア

◇活動開始年

- ・ 1999年

◇活動人数

- ・ 81名(2004年)

◇活動内容

- ・ 民家園の畑の耕作。

◇活動日

- ・ ボランティアの都合の良い日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営(シフト 等)

- ・

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 任期満了時に、市の広報紙等を通じて募集。
- ・ 任期2年。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 年2回、行政のボランティア担当者、他施設のボランティア、学識経験者が講師となって、実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 市のボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 登録者の活動日数の差が大きい。

◇課題と展望

- ・ 登録者全体が、むら無く活動することが課題。

◇その他

- ・

## 活動個別シート ④里山ボランティア

### ◇活動開始年

- ・ 2003 年

### ◇活動人数

- ・ 11 名 (2003 年)

### ◇活動内容

- ・ 施設内里山の整備。
- ・ 体験学習事業の補助。

### ◇活動日

- ・ ボランティアの都合の良い日。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ NPO法人いわきの守に親しむ会が運営。

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ NPO法人いわきの守に親しむ会で募集。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年 2 回、行政のボランティア担当者、他施設のボランティア、学識経験者が講師となって、実施。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 市のボランティア保険に加入。

### ◇評価

- ・ NPO団体に協力頂き、内容的に充実したものと評価できる。

### ◇課題と展望

- ・ 個人での参加を希望する方への対応。

### ◇その他

- ・

.....  
**館園名** : いわき市立草野心平記念文学館

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日（西暦）

・ 1998 年 07 月 19 日

#### 所在地

・ 〒 979 - 3122 福島県いわき市小川町高萩字下夕道 1-39

#### 公式サイト

・ <http://www.k-shimpei.jp/>

#### 設立主体

・ いわき市

#### 運営主体

・ 財団法人いわき市教育文化事業団

#### 設立目的

・ 草野心平の業績を末永く顕彰するとともに、詩を中心とする文学研究成果の公表や情報交換のできる生涯学習施設として、また文学・芸術活動を通しての市民の交流の場を目指す。

#### 展示概要

- ・ 草野心平の資料・作品などの収蔵。
- ・ 展示室にて、草野心平の生涯の紹介や、作品などの展示。

#### 活動概要

- ・ 他館と協力し、草野心平や文学に関する企画展を年に四回開催し、それに関連する講演会やワークショップを開催する。
- ・ 文学散歩、詩作講座、文学シアター、文学館カレッジ、朗読祭を開催。
- ・ 図録・年報・館報を発行。

#### 延床面積

・ 2,194.03 m<sup>2</sup>

#### 全職員数（常勤職員）

・ 7 名（ 2004 年 1 月現在）

#### 年間運営費

・ 80,000,000 円（2003 年度）

#### 総資料点数

・ 50,918 点（ 2003 年 3 月現在）

#### 施設その他

・

## 2. ボランティア活動 名称：いわき市立草野心平記念文学館ボランティアの会

### 活動目的・経緯

・文学館と協力し、ボランティア活動等を通して、文学に対する理解と関心を深めると共に市民のための文学活動を促進し、以って地域文化の向上に貢献することを目的とする。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 8 名（2005 年 1 月現在）
- ・ 男性：3 名、女性：5 名
- ・ 平均年齢 50 歳：男性 50 歳、女性 50 歳

### ボランティア担当職員（2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：学芸員
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 催し開催の補助。
- ・ 資料整理の補助。
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 年に一回、総会を開催。

### 関連する出版物

- ・ なし。

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。



## 活動個別シート① 活動名：催し開催の補助

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

### ◇活動人数

- ・ 8 名（ 2005 年 1 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 催し（講演会・ワークショップ・文学散歩等）開催の補助。

### ◇活動日

- ・ 催し開催日（日曜日を中心）。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ありません。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 会員の都合による。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ ありません。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員による解説。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員、ボランティア保険に加入。

### ◇評価

- ・ ありません。

### ◇課題と展望

- ・ ありません。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート② 活動名：資料整理補助

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

### ◇活動人数

- ・ 8 名（ 2005 年 1 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 資料（新聞）等の整理。

### ◇活動日

- ・ 会員の都合による。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ありません。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 会員の都合による。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ ありません。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員による解説。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員、ボランティア保険に加入。

### ◇評価

- ・ ありません。

### ◇課題と展望

- ・ ありません。

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 喜多方蔵の里

**1. 施設の概要**

**開館年月日**

・1993年04月 01日

**所在地**

・〒966-0094 福島県喜多方市字押切2丁目109番地

**公式サイト**

・<http://www.akina.ne.jp/~furusato/>

**設立主体**

・喜多方市

**運営主体**

・喜多方市ふるさと振興株式会社

**設立目的**

**展示概要**

**活動概要**

- ・ 蔵づくり町家形式の一般公開（有料）（施設）展示
- ・ 地元自由民権運動喜多方事件資料展示, 日本の社会教育運動の父蓮沼川三（喜多方市出身）関係資料、周辺広域市町村の紹介資料展示、他、建物内部に地元に関連した資料を多数展示公開している。

**延床面積**

・1570 m<sup>2</sup>

**全職員数**

・4人

**年間運営費**

・2480万円（2003年度）

**総資料点数**

・1500点

**その他**

土蔵7棟。

郷頭屋敷、肝煎屋敷 各一棟（県重文）

## 2. ボランティア活動 名称：①蔵座敷における呈茶 ②会津の民話の語り

### 活動目的・経緯

- ・ イベントや視察者来訪時に特別に無料で呈茶を実施。
- ・ 一般観光客向けに有料で呈茶を実施（4月～12月 日曜・祝日）
- ・ （5月GW、お盆時、冬まつり時に無料で会津の民話を曲り家で実演（地元、昔話伝承館の皆さん）（中央公民館講座））

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 11名（2004年9月現在）
- ・ 男性：1名、女性：10名
- ・ 平均年齢 60歳：男性50歳、女性60歳

### ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 3名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 上記のとおり。
- ・
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 呈茶は地元のお茶の先生が1人でボランティアで実施して頂いている。

### 関連する出版物

- ・ なし

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 昔話の実演は、地元中央公民館で実施している「昔話伝承館」の講座の会員の方が、練習と発表をかねてボランティアで実施している。

活動個別シート 活動名： 蔵座敷での呈茶

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1993 年

◇活動人数

- ・ 1 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・

◇活動日

- ・ 4 月～12 月の日曜日・祝日など。その他、特に必要な日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 10:00～16:00。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

・あくまで 1 個人のお茶の先生の善意で、実施して頂いている活動であり、来館者へのサービスとなっている、又、茶会や野点等も実施し、施設にマッチしたものとなっている。他の団体などの要望があれば、さまざまな活動を受入、蔵の里の施設らしい活動を形成して行きたい。

◇その他

- ・

## 活動個別シート 活動名： 会津の民話の語り実演

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

### ◇活動人数

- ・ 10 名（2004 年 9 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 施設内の曲り家（民家）の囲炉裏端に置いて、会津地方の民話を方言で語る。（無料）

### ◇活動日

- ・ 5 月のGW、お盆、冬まつり開催時（2 月 19 日・20 日）。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 10:00～15:00。実演者に一任（大体、午前・午後の二交代制）

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 中央公民館の講座「昔話伝承館」の会員の練習と発表の機会としてお願いして実施してもらっている。（全くのボランティア・無報酬）

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 開催日に入り口に看板などを提示して広報している。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 開始して 2 年を経過したが、観光客が入る日と入らない日の差があり、実演する方もその日によって熱の入れ方が異なる。来訪者には好評である。地元の文化を継承していくことは大切なことであるが、若い者の参加がまだまだ少ないようである。

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 郡山市開成館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日（西暦）

- ・ 1997年 月 日

### 所在地

- ・ 〒963-8851 福島県郡山市開成 3-3-7

### 公式サイト

- ・ <http://>

### 設立主体

- ・ 郡山市

### 運営主体

- ・ 郡山市

### 設立目的

- ・ 安積開拓に関する施設を公開するとともに関係資料を展示して安積開拓を顕彰し、もって市民の文化の向上に資するため。

### 展示概要

- ・ 安積開拓の中心的な役割を担った「福島県開拓掛」の事務所であった「開成館」や、そこで働く職員の住宅であった「安積開拓官舎」、開拓者達の代表的な住宅「安積開拓入植者住宅（旧小山家・旧坪内家）を復元・公開。また、「開成館」において、安積開拓や安積疎水の開さくに係わった人々の紹介や資料の展示公開。

### 活動概要

- ・ 常設展示の他、年1度（1ヶ月程度）企画展開催。
- ・ 子どもの日（5/5）・県民の日（8月中旬の土曜もしくは日曜日）を記念し、無料開放。
- ・ 県民の日にはお茶会開催。

### 延床面積

- ・ 5,423.21 m<sup>2</sup>（敷地面積）、1,807.79 m<sup>2</sup>（延床面積）

### 全職員数（常勤職員）

- ・ 4名（2004年12月現在）（全員非常勤職員）

### 年間運営費

- ・ 14,356,000円（2003年度）

### 総資料点数

- ・ 約6,000点（2004年12月現在）

### 施設その他

- ・ 2004年10月に、開成開拓入植者住宅・旧坪内家が移築復元された。これは「鳥取開墾社」副頭取坪内元興の住宅で、明治政府が入植者の住宅用に補助金を交付し建築した4種類の規格住宅の中でも、上級クラスの建物。

## 2. ボランティア活動 名称：郡山市開成開拓案内ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 安積開拓・安積疎水を中心に郡山の歴史をよりわかりやすく、かつ丁寧に来館者に伝える事を目的として活動。
- ・ 平成12年度に発足され、現在23名で活動中。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 23名（2004年12月現在）
- ・ 男性：15名、女性：8名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：郡山市開成館
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（非常勤嘱託職員）3名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 連絡等を円滑にするため、グループ別（3つ）に分け、各代表者3名、さらに全体的代表者1名を決め、連携をはかる。

### 関連する出版物

- ・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・



## 活動個別シート ①展示解説

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

### ◇活動人数

- ・23 名（2004 年 12 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 主に安積開拓と安積疎水を中心とした郡山の歴史を展示資料・建築物を含め来館者（ガイド希望者）に解説。その他希望があれば可能な限り対応。（例えば、民具を中心に案内して欲しい、など）

### ◇活動日

- ・ ガイド予約があった場合。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア用お茶等を予算として計上している。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 3 班にわかれ、人数におうじて対応している。（1 人のガイドに対して、10～20 名程度を目安として）

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 規定人数（25 名）に足りる様、年度始めの頃に広報にて募集。
- ・ 任期等なし（本人の希望による）。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年に 1 度近県にてバス研修を開催。
- ・ 講師をまねき講義（年 1、2 回）。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入（館の予算で対応）。
- ・ 市施設（当館含む 4 館）の入館免除。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 郡山市ふれあい科学館スペースパーク

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 2001年10月01日

### 所在地

- ・ 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1

### 公式サイト

・

### 設立主体

- ・ 郡山市

### 運営主体

- ・ 財団法人郡山市文化・学び振興公社

### 設立目的

- ・ 理科離れ、科学技術離れへの対応、市民の生涯学習意欲への対応、都市部の回遊性と集客。

### 展示概要

- ・ 地上から世界一高いところにあるプラネタリウムとしてギネス登録の宇宙劇場(解説員の生解説によるプラネタリウム・全天周映像)、地上高約100mにある展望ロビー(無料)、展示ゾーン(宇宙に関する様々な展示物を設置、科学に関するサイエンスショー・ワークショップ等)で構成。

### 活動概要

- ・ ホワイエ企画展、サイエンスショー、駅前観望会、宇宙の日記念事業、その他連携事業を実施。

### 延床面積

- ・ 4,337.37 m<sup>2</sup> (専有部分 3,459 m<sup>2</sup>)

### 全職員数

- ・ 39名

### 年間運営費

・

### 総資料点数

- ・ 展示物約60点

### その他

・

## 2. ボランティア活動 名称：スペースパークボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 2002年6月、鉄道ジオラマボランティア活動開始。
- ・ 2003年7月、案内サービスグループ、科学グループ、天文グループ活動開始。
- ・ 2004年2月、自主運営組織スペースパークボランティアの会（略称：S.P.V）設立。
- ・ 2005年3月、館内にて初自主イベント「スペースパークボランティアまつり～春休みだ！ボランティアと遊ぼう!!～」開催。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 104名（2004年）
- ・ 男性：66名、女性：38名（2004年）
- ・ 平均年齢47.3歳：男性47.2歳、女性43.9歳（2004年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：郡山市ふれあい科学館管理課 担当人数：常勤1名・その他 副担当3名

### 活動の種類

- ・ ①案内サービスグループ、②鉄道ジオラマグループ、③科学グループ、④天文グループ。

### 活動その他

- ・ 自主運営組織スペースパークボランティアの会が運営。各運営部会として総務部会・企画部会・広報部会を設置。
- ・ グループ内総務部によりシフト等を行う。
- ・ ボランティア室を設置（お茶等セルフ、パソコン）。
- ・ 応募条件：①科学館の活動に興味があり、ボランティア活動への熱意がある方、②15歳以上で健康な方（中学生を除く。未成年者の場合は、保護者の承諾書が必要。）、③無償で参加可能な方（昼食代・交通費なし）。
- ・ 定年制はなし。任期は1年だが更新登録も可能（4月1日から3月31日まで）。
- ・ 役員会は月に一度、各グループ全体ミーティング1～2月に1回、各運営部会2月1回、10月に全会員による中間活動成果報告会、年度末3月に全会員による総会。
- ・ 郡山市文化観覧施設（開成館・文学の森資料館・美術館・科学館）フリーパス券が交付される（ボランティア登録機関中、本人のみ使用可）。
- ・ ボランティア保険に加入（館が費用負担）。
- ・ 現在、会による表彰規定を準備中。

### 関連する出版物

- ・ ボランティアニュース季刊誌「S.P.Vつうしん」

### 関連するHP

- ・ 郡山市ふれあい科学館HP内、スペースパークボランティアコーナーにて紹介。

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート ①案内サービスグループ

### ◇活動開始年

- ・ 2003年

### ◇活動人数

- ・ 17名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 地上100mにある展望ロビーから山並み・街並み等の景色案内、郡山市郷土史案内。
- ・ 紙芝居の実演。
- ・ 自主イベント時の昔あそびコーナー出展など上記に伴うメニューの開発。

### ◇活動日

- ・ 平日は、午前の部(9:30~13:00)のみ。
- ・ 土日祝日は、午前の部・午後の部(12:30~16:00)に活動。イベント時等はこの限りでない。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

### ◇運営(シフト 等)

- ・

### ◇交流(情報、組織 等)

- ・ 月一回の全体ミーティング、組織として総務部、企画部、広報部の設置。

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 原則年1回の会全体募集による。2005年度は2回募集。広報はポスター・チラシの作成、市広報誌、新聞等への掲載依頼、ラジオ等での告知依頼。

### ◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 実地研修として地域の名所・旧跡説明会、他のボランティア組織等との勉強会、紙芝居レベルアップ研修。

### ◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 研修は多いが資料等が揃わず、活動の発展が遅い。
- ・ 少人数による毎日の活動なので、シフトが組みにくい。

### ◇その他

- ・ なぜか楽器や民話語り部を趣味としている方が多いため、プチ演奏を開催する等、ある意味エンターティナーのグループである。現在発展活動として、公民館等への出張活動調整中。

## 活動個別シート ②鉄道ジオラマグループ

### ◇活動開始年

- ・ 2002年

### ◇活動人数

- ・ 35名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 22階Nゲージ鉄道ジオラマについての説明や案内、および安積開拓の歴史などの説明。
- ・ 鉄道の日記念イベント時の鉄道資料やコレクションの出展及び対応。
- ・ 特別企画Nゲージ模型操作体験コーナーの運営。
- ・ 上記に伴うメニューの開発。

### ◇活動日

- ・ 平日は、午前の部(10:00~12:00)のみ。土日祝日は、午前の部・午後の部(14:00~16:00)に活動。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・

### ◇運営(シフト等)

- ・

### ◇交流(情報、組織等)

- ・ 月一回の全体ミーティング、組織として総務部、企画部、広報部の設置。

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 日本国有鉄道OB会のみ募集。
- ・ 原則年1回の会全体募集による。2005年度は2回募集。広報はポスター・チラシの作成、市広報誌、新聞等への掲載依頼、ラジオ等での告知依頼。

### ◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ JR工場等での車輛研修等。

### ◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 現会員の高齢化、体調不良等。
- ・ 現役の応募がない。

### ◇その他

- ・ 現在男性会員のみ。高齢者ではあるが、一致団結力は目を見張るものがあり、熱い男たちである。発展活動として、公民館等への出張活動調整中。

### 活動個別シート ③科学グループ

#### ◇活動開始年

- ・ 2003 年

#### ◇活動人数

- ・ 34 名 (2004 年)

#### ◇活動内容

- ・ 館内で行われる実験・工作教室等の説明や製作補助。
- ・ 自主イベント時のサイエンスショーや講座。
- ・ 上記に伴うメニューの開発。

#### ◇活動日

- ・ 土日祝日、午前の部 (10:00~12:00)・午後の部 (12:30~16:30) に活動。
- ・ イベント時に活動。

#### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

#### ◇運営 (シフト 等)

- ・

#### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月一回の全体ミーティング、組織として総務部、企画部、広報部の設置。

#### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 原則年 1 回の会全体募集による。2005 年度は 2 回募集。広報はポスター・チラシの作成、市広報誌、新聞等への掲載依頼、ラジオ等での告知依頼。

#### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 2 ヶ月に一回のミーティング時に自主研修を行う。必要に応じ専門職員の研修を開催。

#### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

#### ◇評価

- ・

#### ◇課題と展望

- ・ 社会人や学生が主なので自主メニュー開発が遅れる部分がある。コアメンバーだけの活動とになってしまう節があるので、現在調整を行っている。

#### ◇その他

- ・ 発展活動として、公民館等への出張活動調整中。

## 活動個別シート ④天文グループ

### ◇活動開始年

- ・ 2004 年

### ◇活動人数

- ・ 16 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 天体観望会等での案内、望遠鏡操作補助。
- ・ 上記に伴うメニューの開発。

### ◇活動日

- ・ 観望会実施日 (主に夜間)。自主イベント時。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

### ◇運営 (シフト 等)

- ・

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 毎月 1 回ミーティングを開催している。組織として総務部、企画部、広報部の設置。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 原則年 1 回の会全体募集による。2005 年度は 2 回募集。広報はポスター・チラシの作成、市広報誌、新聞等への掲載依頼、ラジオ等での告知依頼。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 自主研修として 2、3 ヶ月に一度、宿泊勉強会を開催。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 自主性に伴う活動には目を見張るものがある。グループの平均年齢が若いためか、ノリが良い。

### ◇その他

- ・ 発展活動として、公民館等への出張活動調整中。

.....  
**館園名** : ふくしま海洋科学館 (アクアマリンふくしま)

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 2000年07月15日

### 所在地

- ・ 〒971-8101 福島県いわき市小名浜字辰巳町50

### 公式サイト

- ・ <http://www.marine.fks.ed.jp>

### 設立主体

- ・ 福島県

### 運営主体

- ・ 財団法人ふくしま海洋科学館

### 設立目的

- ・ 「海を通して『人と地球の未来』を考える」という理念のもと、生物の生育環境を可能な限り忠実に再現した環境展示を目指すとともに、身近な自然の活用と保全、海洋資源の持続可能な利用のあり方について様々な角度から情報を発信している。また、平成15年度には「環境水族館」を宣言し、これまでの水族館の役割を超えた、次世代水族館としての施設を目指している。

### 展示概要

- ・ 「黒潮と親潮が会える潮目の海」を展示のメインテーマとし、1,345種、約75,000点の動植物を展示している。
- ・ 学習館としての機能を合わせ持っており、潮目の海の文化として、万祝・大漁旗などの民俗資料も展示している。

### 活動概要

- ・ 展示テーマによる企画展示を開催。
- ・ 飼育困難生物の研究と繁殖に関する研究。
- ・ 学校教育・社会教育との連携や、地域との交流事業（移動水族館、館外授業、アクアマリンスクール、土曜教室等の開催）。
- ・ 機関誌「AMFnews」の発行。

### 延床面積

- ・ 14,681 m<sup>2</sup> (本館 13,715 m<sup>2</sup>、水生生物保全センター966 m<sup>2</sup>)

### 全職員数

- ・ 80名

### 年間運営費

・

### 総資料点数

・

### その他

・



## 2. ボランティア活動 名称：アクアマリンふくしまボランティアの会（AMFV）

### 活動目的・経緯

- ・ 「海を通して『人と地球の未来』を考える」という基本理念に基づき、自主性をもって活動することにより、会員一人一人の資質の向上と、会員相互の交流を図ることを目的とする。
- ・ 1999年7月、第1期生登録。開館前の研修活動を開始。
- ・ 2000年7月15日、アクアマリンふくしま開館。
- ・ 2001年4月、アクアマリンふくしまボランティアの会、発足。
- ・

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 182名（2004年）
- ・ 男性：111名、女性：71名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性60.7歳、女性56.4歳（2004年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：事業部学習交流課 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①展示解説および来館者の観覧支援。

### 活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。
- ・ ボランティア運営委員会による役員会と各部会（総務、活動推進、研修、広告）による会の運営。
- ・ 会員は活動をひと月最低2回、1回の活動時間4時間と定め活動している。
- ・ AMFVニュースの発行（年5回）。
- ・ 会員募集は年1回、定期的に募集している。
- ・ 定年、任期なし。
- ・ ボランティア相互で研修を実施。
- ・ ボランティア保険に加入している。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート ①展示解説および来館者の観覧支援

### ◇活動開始年

- ・ 2000年

### ◇活動人数

- ・ 182名（2004年）

### ◇活動内容

- ・ 展示の解説、および観覧支援。

活動場所：タッチプール（磯の生き物についての解説や観察の仕方の指導をおこないます。）

情報コーナー（マリンメイツとともに磯の工作教室を行います。）

バックヤードツアー（水族館の裏側をマリンメイツと一緒に案内します。）

マイクロアクアリウム（顕微鏡を使って海中のプランクトンを観察します。）

伝馬船・山しめ（伝馬船シミュレーターで櫓（ろ）を使って伝馬船の漕ぎ方を体験します。）

バックヤードミニツアー（ボランティアのガイドで水族館の裏側を案内します。）

シケータガイド（各フロアで展示生物や水草の解説などの案内をします。）

### ◇活動日

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 活動に関わる費用は、全額財団が負担している。
- ・ 館内にボランティアルームを設置し、毎日のミーティング、休憩等に利用している。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア運営委員会により運営。
- ・ 1ヶ月に2回、1回4時間程度の活動を、会員の最低ラインとして設定している。
- ・ 午前の部（9:00～13:00）、午後の部（12:30～16:30）に分かれ、1日約20人が常時活動している。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 役員会、各部会を、月1回開催。
- ・ AMF Vニュースを発行（年5回）。
- ・ その他、壁新聞を利用して情報の共有化を図っている。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年、11月に、HPやチラシ、ポスター等で一般公募を行う。
- ・ 条件：15歳以上の心身ともに健康な方、無償で活動して頂ける方、毎月2回以上（1回4時間）の活動ができる方。
- ・ 定員なし。定年、任期なし。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 登録前研修として、新人研修、実地研修、接遇研修を実施。
- ・ 館外研修を実施。
- ・ ボランティア相互で研修を実施。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入している。
- ・ 制服の貸与。

### ◇評価

- ・ 毎年、活動表彰式を行い、活動時間（300時間、500時間、1,000時間など）ごとに館から感謝状と記念品を贈呈している。

◇課題と展望

- ・ 曜日ごとの活動人数にばらつきがあるため、その不均衡を解消する必要がある。
- ・ 運営するために作成する資料などが多いため、負担となりつつある。

◇その他

・

.....  
**館園名** : 福島県文化財センター白河館 (まほろん)

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 2001年07月15日

### 所在地

- ・ 〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86

### 公式サイト

- ・ <http://www.mahoron.fks.ed.jp>

### 設立主体

- ・ 福島県

### 運営主体

- ・ 財団法人福島県文化振興事業団

### 設立目的

- ・ 「遺跡から学ぶ自然と人間のかかわり」をメインテーマとして、“見て・触れて・考え・学ぶ”体験型フィールドミュージアムを目指す。
- ・ 先人が営んだ生活の証を見つめ直すことにより、個性豊かな地域の歴史・文化と自然の関わりを認識し、地域に対する誇りや文化財に対する愛着を育むことに寄与することを目的とする。

### 展示概要

- ・ 「遺跡から学ぶ自然と人間のかかわり」をテーマに、県内から出土した土器や石器を使い、時代毎の食卓や台所を復元展示。出土品を当時の製作技術まで研究し復元した資料、巨大収蔵庫も観覧できる。
- ・ 野外展示では、縄文時代の家や白河地方の豪族の前方後円墳、奈良時代の家、古代白河郡の役所の正倉、平安時代の製鉄炉・中世の屋敷などが、復元展示されている。

### 活動概要

- ・ 野外展示や館内体験活動室などを活用して、古代生活の様々な体験学習を行っている。

### 延床面積

- ・ 本館棟 : 2,400 m<sup>2</sup> 体験学習館 : 93 m<sup>2</sup> 収蔵庫棟 : 3,000 m<sup>2</sup>

### 全職員数

- ・ 24名

### 年間運営費

- ・ 86,000千円 (2004年度)

### 総資料点数

- ・ 出土品 42,000箱など

### その他

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：まほろんボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 2001年4月、活動開始。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 45名（2004年）
- ・ 男性：18名、女性：27名（2004年）
- ・ 平均年齢54歳：男性58.8歳、女性51.0歳（2004年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育普及課 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①常設展示・野外展示の案内、②体験学習の指導、③収蔵資料の整理補助、④ボランティアイベントの実施、⑤オリエンテーリングの実施、⑥ツアーの実施、⑦体験学習機材の製作、⑧古代畑の手入れ。⑨自主研修

### 活動その他

- ・ ボランティア室あり。
- ・ 館主導で運営しているが、様々な自主活動グループが出来てきた。
- ・ 毎月10日ごろまでに、翌月の活動日・活動内容を報告する。
- ・ 年1回、ボランティア総会を開催。
- ・ ボランティア主催で、ボランティアイベント、活動内容の展示を実施。
- ・ 連絡誌を自主発行。
- ・ 月1回、館からの連絡プリントを送付。
- ・ 毎年9月1日～30日に、HP・館内チラシなどで一般公募を行う。
- ・ 条件：15歳以上（中学生を除く）の健康な方（無償）。
- ・ 上限100名。
- ・ 団体登録ボランティアの制度あり。
- ・ 定年制はない。
- ・ 登録期間は1年（更新あり）。
- ・ 事前研修4ヶ月（学芸員が講師）。4月1日に新規登録する。
- ・ 秋から冬にかけて、館が月2回程度研修を実施。
- ・ 年1回、館外研修を実施（バス代は、館が負担）。
- ・ 2002年より、関連する体験講座の実施日などに、個人またはグループで自主研修（カラムシ栽培・カラムシのアンギン編み、縄文土器作り）を実施。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ ユニフォームを貸与。
- ・ 総会以外でボランティアがコミュニケーションをとる場をつくることが課題。

### 関連する出版物

- ・ 「ろんろん通信」。

### 関連するHP

- ・ 福島県文化財センター白川館HP <http://www.mahoron.fks.ed.jp>

### 館外組織（NPO等）との連携

- ・

## 活動個別シート ①常設展示・野外展示の案内

### ◇活動開始年

- ・ 2001年

### ◇活動人数

- ・ 13名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 常設展示・野外展示の案内・解説を行う。

### ◇活動日

- ・ 不定期。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ ボランティア室あり。

### ◇運営(シフト等)

- ・ 各人の希望日に活動。

### ◇交流(情報、組織等)

- ・ 連絡誌を自主発行。
- ・ 館からの連絡プリントを月1回送付。

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 毎年9月にホームページ、館内チラシ等で募集。
- ・ 15歳以上。
- ・ 定年制無し、登録期間1年(更新あり)

### ◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 事前研修4ヶ月(学芸員が講師)。
- ・ 他施設視察研修年1回

### ◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館が負担)。
- ・ 年1回、館外研修を実施(バス代は館が負担)。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ メンバーが固定化してきており、希望者が少ない。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ②体験学習の指導

### ◇活動開始年

- ・ 2001年

### ◇活動人数

- ・ 26名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 体験学習の指導。

### ◇活動日

- ・ 不定期。

### ◇ 補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 各人の希望日に活動。

### ◇ 交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡誌を自主発行。
- ・ 館からの連絡プリントを月1回送付。

### ◇ 募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年9月にホームページ、館内チラシ等で募集。
- ・ 15歳以上。
- ・ 定年制無し、登録期間1年(更新あり)

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修4ヶ月(学芸員が講師)。
- ・ 他施設視察研修年1回

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館が負担)。
- ・ 年1回、館外研修を実施(バス代は館が負担)。
- ・ ユニフォームを貸与。

### ◇評価

- ・ 最も活動人数が多く、今後の中心的な活動メニュー。

### ◇課題と展望

・

### ◇その他

・

### 活動個別シート ③収蔵資料の整理補助

#### ◇活動開始年

- ・ 2001年

#### ◇活動人数

- ・ 7名(2004年)

#### ◇活動内容

- ・ 収蔵資料の修復。

#### ◇活動日

- ・ 毎週木曜日を中心に活動。

#### ◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ ボランティア室あり。

#### ◇運営(シフト等)

- ・ 各人の希望日に活動。

#### ◇交流(情報、組織等)

- ・ 連絡誌を自主発行。
- ・ 館からの連絡プリントを月1回送付。

#### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 毎年9月にホームページ、館内チラシ等で募集。
- ・ 15歳以上。
- ・ 定年制無し、登録期間1年(更新あり)

#### ◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 事前研修4ヶ月(学芸員が講師)。
- ・ 他施設視察研修年1回

#### ◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館が負担)。
- ・ 年1回、館外研修を実施(バス代は館が負担)。
- ・ ユニフォームを貸与。

#### ◇評価

- ・ メンバーがかなり固定化してきたが、安定した活動をしている。

#### ◇課題と展望

- ・

#### ◇その他

- ・



## 活動個別シート ④ボランティアイベントの実施

### ◇活動開始年

- ・ 2002 年

### ◇活動人数

- ・ 24 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ ボランティア主催のボランティアイベントを、年 1 回開催。
- ・ 活動内容の展示会を実施。

### ◇活動日

- ・ 年 1 回 (準備に 2 ヶ月程度)。

### ◇ 補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ イベントの出しものごとに分担して準備～実施。
- ・ ボランティア主催。

### ◇ 交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡誌を自主発行。
- ・ 館からの連絡プリントを月 1 回送付。

### ◇ 募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 9 月にホームページ、館内チラシ等で募集。
- ・ 15 歳以上。
- ・ 定年制無し、登録期間 1 年 (更新あり)

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 4 ヶ月 (学芸員が講師)。
- ・ 他施設視察研修年 1 回

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入 (費用は館が負担)。
- ・ 年 1 回、館外研修を実施 (バス代は館が負担)。
- ・ ユニフォームを貸与。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 年 1 回、多数のボランティアが集まって活動する機会なので、継続的に発展させて行きたい。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ⑤オリエンテーリングの実施

### ◇活動開始年

- ・ 2002年

### ◇活動人数

- ・ 10名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 常設展示室や、野外展示の中などにチェックポイントを設置して、来館者が文化財に関する設問を解きながら行うオリエンテーリングを実施。

### ◇活動日

- ・ 月1回。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ ボランティア室あり。

### ◇運営(シフト等)

- ・ 自主的に定めた実施日に、各人が希望して参加。
- ・ 自主活動。

### ◇交流(情報、組織等)

- ・ 連絡誌を自主発行。
- ・ 館からの連絡プリントを月1回送付。

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 毎年9月にホームページ、館内チラシ等で募集。
- ・ 15歳以上。
- ・ 定年制無し、登録期間1年(更新あり)

### ◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 事前研修4ヶ月(学芸員が講師)。
- ・ 他施設視察研修年1回

### ◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館が負担)。
- ・ 年1回、館外研修を実施(バス代は館が負担)。
- ・ ユニフォームを貸与。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ⑥ツアーの実施

### ◇活動開始年

- ・ 2003 年

### ◇活動人数

- ・ 10 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 植物観察ツアー、見どころ案内ツアーの実施。

### ◇活動日

- ・ 月 1 回。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 自主的に定めた実施日に、各人が希望して参加。
- ・ 自主活動。

### ◇ 交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡誌を自主発行。
- ・ 館からの連絡プリントを月 1 回送付。

### ◇ 募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 9 月にホームページ、館内チラシ等で募集。
- ・ 15 歳以上。
- ・ 定年制無し、登録期間 1 年 (更新あり)

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 4 ヶ月 (学芸員が講師)。
- ・ 他施設視察研修年 1 回

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入 (費用は館が負担)。
- ・ 年 1 回、館外研修を実施 (バス代は館が負担)。
- ・ ユニフォームを貸与。

### ◇評価

・

### ◇課題と展望

・

### ◇その他

・

## 活動個別シート ⑦体験学習機材の製作

### ◇活動開始年

- ・ 2002 年

### ◇活動人数

- ・ 1 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 体験学習機材の製作。

### ◇活動日

- ・ 不定期。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 自主的に定めた実施日に、各人が希望して参加。

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡誌を自主発行。
- ・ 館からの連絡プリントを月 1 回送付。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 9 月にホームページ、館内チラシ等で募集。
- ・ 15 歳以上。
- ・ 定年制無し、登録期間 1 年 (更新あり)

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 4 ヶ月 (学芸員が講師)。
- ・ 他施設視察研修年 1 回

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入 (費用は館が負担)。
- ・ 年 1 回、館外研修を実施 (バス代は館が負担)。
- ・ ユニフォームを貸与。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ⑧古代畑の手入れ

### ◇活動開始年

- ・ 2001年

### ◇活動人数

- ・ 2名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 古代畑の作物の管理。

### ◇活動日

- ・ 不定期。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ ボランティア室あり。

### ◇運営(シフト等)

- ・ 自主的に定めた実施日に、各人が希望して参加。

### ◇交流(情報、組織等)

- ・ 連絡誌を自主発行。
- ・ 館からの連絡プリントを月1回送付。

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 毎年9月にホームページ、館内チラシ等で募集。
- ・ 15歳以上。
- ・ 定年制無し、登録期間1年(更新あり)

### ◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 事前研修4ヶ月(学芸員が講師)。
- ・ 他施設視察研修年1回

### ◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館が負担)。
- ・ 年1回、館外研修を実施(バス代は館が負担)。
- ・ ユニフォームを貸与。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ⑨自主研修

### ◇活動開始年

- ・ 2001年

### ◇活動人数

- ・ 14名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ カラムシ栽培からカラムシのアンギン編み。
- ・ 縄文土器づくり。

### ◇活動日

- ・ 関連する体験講座実施日、および活動希望日。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。

### ◇運営(シフト 等)

- ・ グループでの活動を基本とするが、個人で研修する場合もある。

### ◇交流(情報、組織 等)

- ・ 連絡誌を自主発行。
- ・ 館からの連絡プリントを月1回送付。

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年9月にホームページ、館内チラシ等で募集。
- ・ 15歳以上。
- ・ 定年制無し、登録期間1年(更新あり)

### ◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修4ヶ月(学芸員が講師)。
- ・ 他施設視察研修年1回

### ◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館が負担)。
- ・ 年1回、館外研修を実施(バス代は館が負担)。
- ・ ユニフォームを貸与。

### ◇評価

・

### ◇課題と展望

・

### ◇その他

・

.....

**館園名** : 福島市民家園

**1. 施設の概要**

**開館年月日 (西暦)**

・ 1982 年 08 月 01 日

**所在地**

・ 〒 960 - 2155 福島県福島市上名倉字大石前地内

**公式サイト**

・ <http://>

**設立主体**

・ 福島市

**運営主体**

・ 福島市

**設立目的**

・ 江戸中期から明治初期にかけての県北地方の民家や民俗資料を紹介する目的で、「県あづま総合運動公園」内に開園。

**展示概要**

- ・ 民家、芝居小屋、商人宿、料亭、板倉等を移築復元し、展示している。
- ・ 民俗資料を、各民家や資料館に展示。四季折々には、その時節にあった各種の年中行事を再現し、民具製作の実演なども行う。

**活動概要**

- ・ 年中行事・体験行事・公演事業の開催。
- ・ 園内ボランティアガイド。
- ・ 企画展示を行い、寄贈民具を紹介したり、復元建造物の歴史等を探る。

**延床面積**

・ m<sup>2</sup>

**全職員数 (常勤職員)**

・ 4 名 ( 2005 年 1 月現在)

**年間運営費**

・ およそ 53,700,000 円 (2003 年度)

**総資料点数**

・ 復元建造物 12 棟、複製建造物 2 棟、民具約 6000 点 ( 年 月現在)

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：民家園のつどい

### 活動目的・経緯

・

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 109 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性：78 名、女性：31 名
- ・ 平均年齢 68 歳：男性 71 歳、女性 62 歳

### ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称： 教育委員会文化課文化財係
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 園内ガイド。
- ・ 年中行事、体験行事の開催。
- ・ 公演事業当日の協力。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 総会年 1 回、幹事会年に 1～2 回開催。
- ・ 顧問 1 名、会長 1 名、副会長 3 名、幹事 9 名を置く。

### 関連する出版物

- ・ 「生活の伝承」

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし



## 活動個別シート① 活動名：園内ボランティアガイド

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

### ◇活動人数

- ・ 21 名（ 2005 年 1 月現在）

### ◇活動内容

・見学団体より事前に申し込みを受け、全体的な説明や希望により民具・養蚕、個別の建物について重点を置いた説明をしながら園内を案内する。

### ◇活動日

- ・団体より申し込みを受けた日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・報償として、平成 16 年度は 289,000 円を計上。
- ・備品として、ハンドマイク、小学 3～4 年の社会科教科書など。

### ◇運営（シフト 等）

- ・曜日で三班にわけ、班長が班員の実施回数を調整しつつ、実施可能な人に依頼。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ガイド日誌をつける。年数回（1～2 回）ガイド班長会又は全体会議を実施。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・四月ごろ、市政だよりやポスター・チラシ等で数名募集。
- ・任期なし。
- ・研修を行い、詳しい組織作りややり方などを説明後、希望者を登録。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

・初任者研修（民族を研究するボランティアの顧問を講師とした講義、先輩ガイドと実際の案内に参加）。

・一般研修（各古民家にガイドがいて、一般来園者から自由に質問を受けることで知識を再確認する。行事の一つとして実施）。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費相当の 2,000 円／回を支給（一人 10 回を上限）。
- ・保険（他の活動と一括して加入）。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

・事務局主催の研修は、時間や人的に限界があるので、班ごと、個人ごとの勉強を自主的に行える環境作りが必要。

### ◇その他

- ・「民家園のてびき」を各ガイドへ配布。
- ・2001 年から 2003 年は市等行政関係や小中学校を主にガイドの対象としていたが、2004 年より観光団体も対象とし始めて件数が大幅に伸び、好評を得ている。

## 活動個別シート② 活動名：年中行事・体験行事の運営

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1982 年

### ◇活動人数

- ・ 109 名（2005 年 1 月現在）実働人数一回に 30 名前後

### ◇活動内容

・毎月一回から二回、昔から行われてきた年中行事を再現し、市民に行事の意味等を伝える。また子供たちを中心とした昔の農家の一日を体験する行事や、わら細工、石臼引きなどを実施。

### ◇活動日

- ・毎月 1～2 回。土日又は祝日に開催。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・毎年約 700,000 円計上。
- ・民家園に研修あり。

### ◇運営（シフト 等）

- ・古民家ごとに家族・親戚を校正し、各家必ず誰かが参加するように連絡を取り合う。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・会報「生活の伝承」を毎年発行。
- ・組織：民家園のつどい（顧問 1、会長 1、副会長 3、幹事 9）。
- ・総会（年 1）、幹事会（年 1～2）、打ち合わせ（随時）。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・行事案内・募集チラシの設置により、随時受け入れ。
- ・三年間会費未納者は除名、他には制限なし。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・他のボランティアがいる類似施設を視察。
- ・総会后、顧問の民俗についての講演。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・保険加入。昼食支給。
- ・交通費等、現金での報償なし。

### ◇評価

- ・20 周年の際、記念品と市長よりの感謝状。

### ◇課題と展望

- ・高齢化。
- ・自主活動の提起。

### ◇その他

- ・

### 活動個別シート③ 活動名：芝居小屋「旧広瀬座」公演協力

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 約 16 名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・ 福島市および市教育委員会又は旧広瀬事業実行委員会主催の伝統芸能公演開催当日、受付や場外整理といった役割を分担する。

◇活動日

- ・ 毎年 10 月中旬の土日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 事務局より総会・幹事会・打ち合わせなどで情報を知らせる。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 「民家園のつどい」のメンバーすべてに協力を依頼。公演の一ヶ月ほど前に呼びかける。資料配布。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 昼食支給。
- ・ 保険（他の活動と一括して加入）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 予算が削減される中、必要最小限に人数を絞って運営しなければならない。
- ・ 公演自体、無料招待から有料に変わり、来場者への対応の向上が求められる。

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 三春町歴史民俗資料館

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日（西暦）

- ・ 1983年04月20日

#### 所在地

- ・ 〒963-7758 福島県田村郡三春町字桜谷 5 番地

#### 公式サイト

- ・ <http://www.town.miharu.fukushima.jp/rekishi/index.htm>

#### 設立主体

- ・ 三春町

#### 運営主体

- ・ 三春町

#### 設立目的

- ・ 考古資料・民俗資料・文書資料等の歴史に関する資料を収集・保管、および公開し、併せてこれら資料に関する調査研究等を行い、もって町民文化の向上に資するため（三春町歴史民俗資料館条例第2条）。

#### 展示概要

- ・ 常設展示は、「はるかな三春」「きのうの三春」の2コーナーからなり、前者は縄文から明治維新までの歴史を、校舎は明治時代以降の民俗を取り上げている。併設する自由民権記念館では、河野広中ら、三春出身の運動家に関する資料を展示している。その他、年数回の企画展を開催。

#### 活動概要

- ・ 展示活動・資料調査以外では、文化財保護、各種講座による生涯学習・総合学習への取り組みを実施。

#### 延床面積

- ・ 1,459.87 m<sup>2</sup>

#### 全職員数（常勤職員）

- ・ 4名（2004年12月現在）

#### 年間運営費

- ・ 16,806,000円（2003年度）（人件費除）

#### 総資料点数

- ・ 約30,000点（2004年12月現在）

#### 施設その他

- ・ 事務室・常設展示室・企画展示室・自由民権記念館展示室・収蔵庫（3室）・研修室・研究室等。

## 2. ボランティア活動 名称：資料館友の会ボランティアガイド

### 活動目的・経緯

- ・ 町内外の方々に、三春町内の文化財について理解いただくことを目的としている。設立は1996年4月で、1年間の研修を経て活動を開始。2003年度には人員の増加を図り、再度研修を実施している。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 9名（2004年12月現在）
- ・ 男性：4名、女性：5名
- ・ 平均年齢72歳：男性 歳、女性62歳

### ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：三春町教育委員会生涯学習課歴史民俗資料館
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ）0名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 文化財ガイド。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

- ・ 「みはるぶらり 三春散歩 文化財めぐりの手引き」  
（三春町歴史民俗資料館友の会：1996年7月10日発行）

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

## 活動個別シート 文化財ガイド

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997年

### ◇活動人数

- ・ 9名（2004年12月現在）

### ◇活動内容

- ・ 三春町内の文化財、特に旧城下町区域の文化財について、依頼に応じてガイドを実施する。

### ◇活動日

- ・ 随時。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 事務局を資料館に置く。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティアガイド代表幹事による担当配分。

### ◇交流（情報、組織 等）

・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 数年に一度新規募集を行う（町広報）。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 先進地視察（他自治体での史跡ガイド等を受ける）。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

### ◇評価

- ・ 任意団体で組織化したため、経費の補助は一切していないが、自己研鑽につとめ実地の活動でも好評を得ている。

### ◇課題と展望

- ・ 高齢化が進んでいる点が課題。

### ◇その他

・